

大阪府国土利用計画PDCA 検討シート

PDCAの実施にあたっては、土地利用区分ごとの面積と併せ、関連する指標により質的な観点も含めて総合的に評価することとする。

目次

① 農地面積 <関連指標（例）企業及び新規就農者数 など>	P.1
② 森林面積 <関連指標（例）持続的な森づくり推進事業 など>	P.5
③ 河川・水面・水路面積	P.7
④ 道路面積 <関連指標（例）道路混雑度 など>	P.9
⑤ 都市公園面積 <関連指標（例）府営公園利用者数 など>	P.11
⑥ 住宅地面積 <関連指標（例）マンション建替え件数、空き家の数 など>	P.13
⑦ 工業用地面積 <関連指標（例）事業所数、製造品出荷額 など>	P.15
⑧ 商業・業務施設等用地面積 <関連指標（例）事業所数、小売業に係る売場面積 など>.....	P.16
⑨ その他用地面積 <関連指標（例）空地面積 など>	P.18
土地利用区分面積の推移【参考】.....	P.20

農地

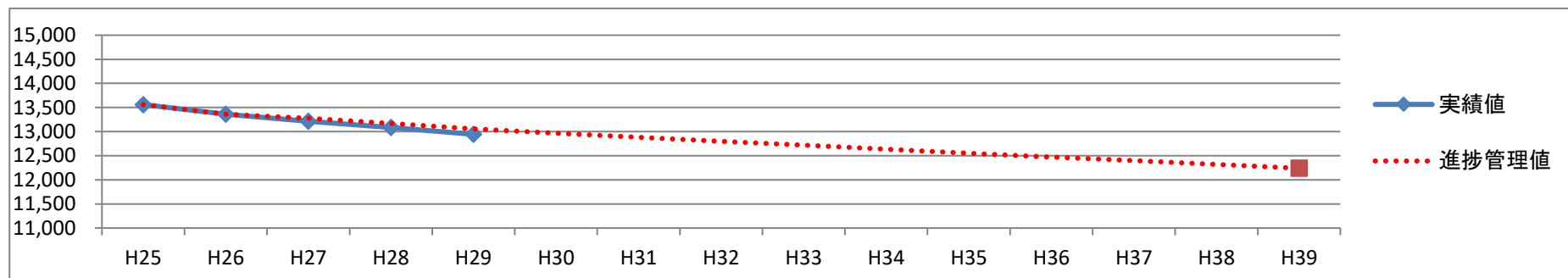
①農地面積

(1)面積目標の考え方

	面積 (ha) (構成比%)		面積増減 (ha) H39-H25	目標の設定について
	H25年	H39年		
① 農地	13,560 (7.10%)	12,240 (6.40%)	-1,320	面積の減少のすう勢による予測値に、農地の保全施策による減少抑制の想定値を加味して設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区分別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。) (ha)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	13,560	13,363	13,278	13,168	13,057	12,965	12,881	12,797	12,717	12,634	12,553	12,474	12,396	12,318	12,240
②実績値	13,560	13,363	13,214	13,085	12,944										
③増減 ②-①H25	0	-197	-346	-475	-616										
④面積増減に 対する実績の割合 ③/面積増減	0.0%	14.9%	26.2%	36.0%	46.7%										



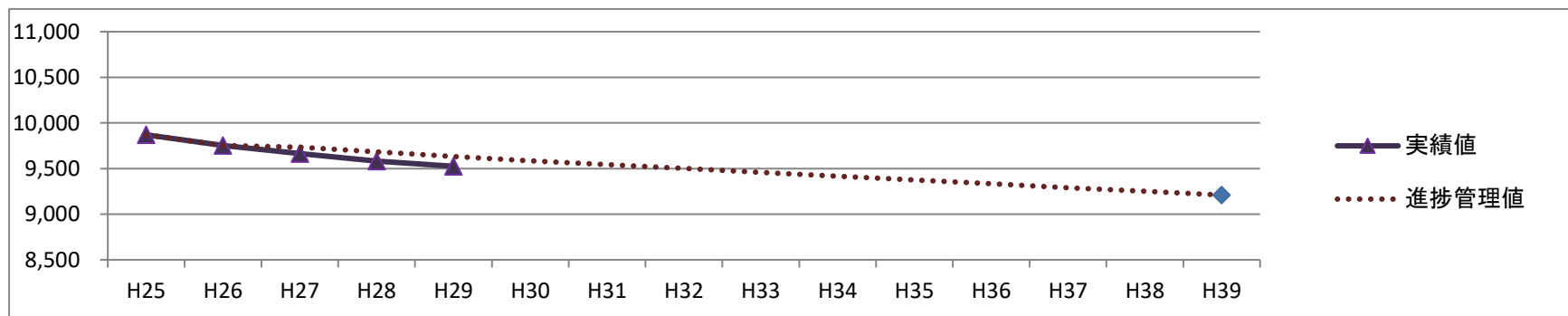
農地

	面積(ha)(構成比%)		面積増減(ha) H39-H25	目標の設定について
	H25年	H39年		
市街化調整区域内農地	9,870	9,210	-660	面積の減少のすう勢による予測値に、農地の保全施策による減少抑制の想定値を加味して設定

① - 1 市街化調整区域内農地面積

(ha)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	9,870	9,752	9,735	9,683	9,631	9,585	9,543	9,501	9,459	9,417	9,375	9,333	9,291	9,250	9,210
②実績値	9,870	9,752	9,663	9,583	9,525										
③増減 ②-①H25	0	-118	-207	-287	-345										
④面積増減に 対する実績の割合 ③/面積増減	0.0%	17.9%	31.4%	43.5%	52.3%										



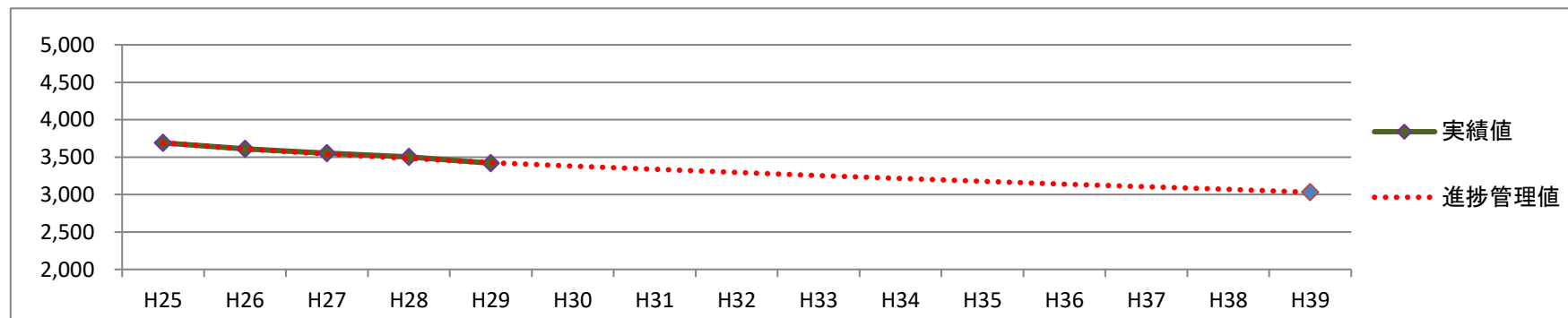
農地

	面積(ha)(構成比%)		面積増減(ha) H39-H25	目標の設定について
	H25年	H39年		
市街化区域内農地	3,690	3,030	-660	面積の減少のすう勢による予測値に、農地の保全施策による減少抑制の想定値を加味して設定

① - 2 市街化区域内農地面積

(ha)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
	3,690	3,611	3,542	3,483	3,425	3,380	3,337	3,296	3,255	3,216	3,177	3,140	3,104	3,068	3,030
②実績値	3,690	3,611	3,551	3,502	3,419										
③増減 ②-①H25	0	-79	-139	-188	-271										
④面積増減に 対する実績の割合 ③/面積増減	0.0%	12.0%	21.1%	28.5%	41.1%										



(3) データ分析

平成25年からの4年間、市街化区域内農地では進捗管理値を上回っているが、市街化調整区域内農地では進捗管理値を下回って推移しており、全体としては下回って推移している。

市街化区域内においては住宅用地への転用が多く、市街化調整区域内では「その他」の多くを占める資材置場や青空駐車場への転用が多い。

<考察に必要なデータ案>

□基礎的データ

- ・農地面積(実績値と進捗管理値)
- ・地域別農地面積
- ・市街化区域・市街化調整区域等の農地面積
- ・農地転用状況
- ・農業産出額と生産農業所得

□多様な担い手の確保

- ・農家数及び農業就業人口
- ・新規就農者数
- ・企業参入数

□農地の貸借等による農地の保全・活用

- ・遊休農地解消・未然防止面積

【参 考：基本方向(大阪府国土利用計画(第5次))】

- ・多様な担い手の確保、農業生産基盤の整備・維持管理や農地の賃借の取組などによる農地の保全・活用の推進
- ・都市農業振興基本法の趣旨に基づく、生産緑地の農業生産機能の確保、貴重な緑地空間、防災空間としての有効かつ適切な保全
- ・宅地化農地が転換される際のみどりの確保

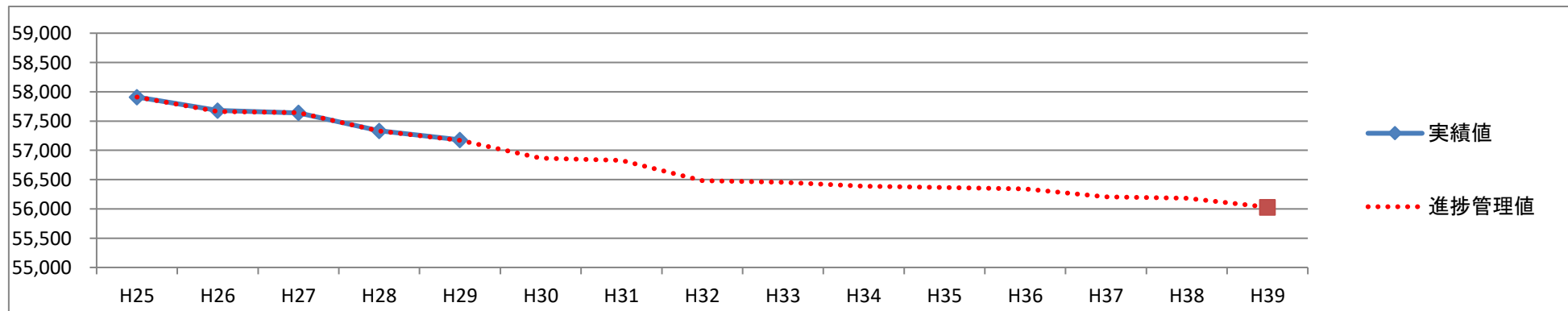
②森林面積

(1)面積目標の考え方

	面積(ha)(構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
②森林	57,910 (30.50%)	56,030 (29.40%)	-1,880	できるだけ保全する。小規模な開発を含む面積減少のすう勢の予測値に、幹線道路、ダムや事業計画が概ね確定している住宅地開発(彩都、箕面森町等)の完了に伴う減少、さらに開発抑制等の施策による減少抑制の想定値を加味して設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	57,910	57,661	57,643	57,328	57,170	56,867	56,827	56,480	56,456	56,388	56,364	56,341	56,204	56,181	56,030
②実績値	57,910	57,679	57,639	57,333	57,179										
③増減 ②-H25目標	0	-231	-271	-577	-731										
④面積増減に 対する実績の割合 ③/面積増減	0.0%	12.3%	14.4%	30.7%	38.9%										



(3) データ分析

平成25年からの3年間、進捗管理値との乖離値は少なく、ほぼ当初予測どおりの推移を示している。

【参考:基本方向(大阪府国土利用計画(第5次))】

- ・治山事業等の導入による森林の保全・整備
- ・府民・NPO・企業等の多様な担い手の参画による里山の保全活動
- ・森林環境税を活用した災害に強い健全な森林を次世代に引き継ぐ取組の緊急かつ集中的実施
- ・市街地及びその周辺に残された社寺林等は、都市の貴重なみどりとして保全

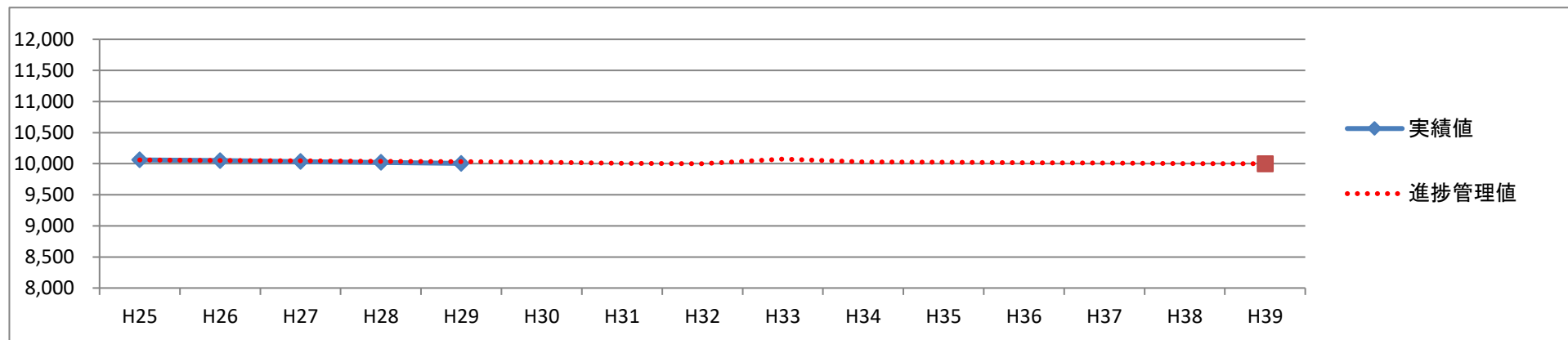
③河川・水面・水路面積

(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
③河川・水面・水路	10,060 (5.30%)	10,000 (5.20%)	-60	必要な面積を確保する。水路等の面積の減少のすう勢による予測値に、ダム整備による水面の増加分と農地保全施策に伴うため池、水路減少抑制の想定値を加味して設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区分別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	10,060	10,049	10,047	10,039	10,032	10,024	10,008	10,000	10,074	10,030	10,022	10,016	10,009	10,001	10,000
②実績値	10,060	10,049	10,035	10,020	10,005										
③増減 ②-①H25	0	-11	-25	-40	-55										
④面積増減に 対する実績の割合 ③/面積増減	0.0%	18.3%	41.7%	66.7%	91.7%										



(3) データ分析

平成25年からの4年間、やや減少している。河川・水面・水路のうち、河川面積の増減はなく、水面と水路面積が減少している。

【参 考:基本方向(大阪府国土利用計画(第5次))】

- ・水資源の確保や災害防止など利水・治水の観点から、地域や流域の特性に応じた適切な維持管理、改修・整備を推進
- ・生物の多様な生息・生育環境が確保できる自然環境の保全、水質の改善及び緑化の推進、安全面にも配慮した親水

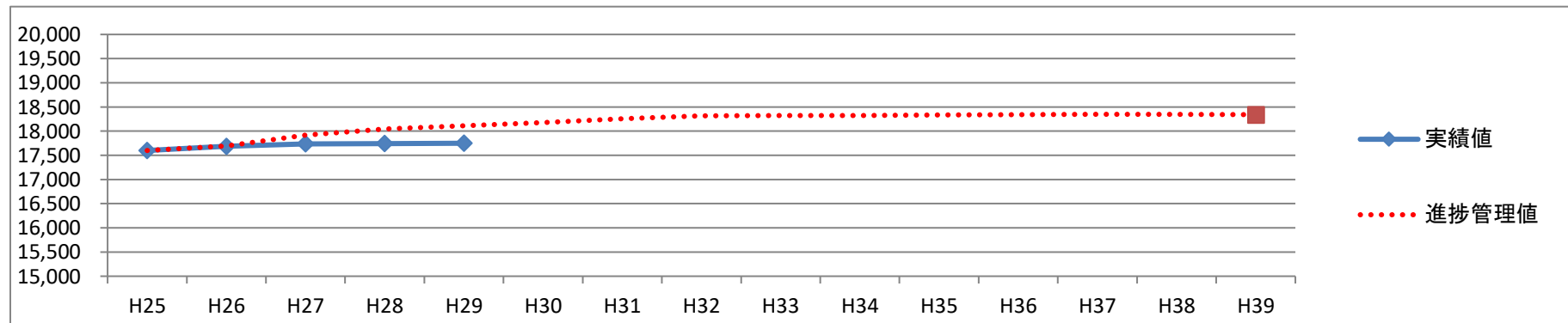
④道路面積

(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
④道路	17,600 (9.30%)	18,340 (9.60%)	740	民間開発等に伴う道路面積の増加のすう勢に、今後整備される高速道路や国道、府道の面積を加味して設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	17,600	17,694	17,918	18,046	18,111	18,175	18,254	18,319	18,324	18,322	18,337	18,343	18,349	18,346	18,340
②実績値	17,600	17,686	17,738	17,745	17,750										
③増減 ②-①H25	0	86	138	145	150										
④面積増減に 対する面積の割合 ③/面積増減	0.0%	11.6%	18.6%	19.6%	20.3%										



(3) データ分析

平成25年からの4年間、進捗管理値を下回って推移している。

【参 考:基本方向(大阪府国土利用計画(第5次))】

- 道路(高速自動車国道、一般国道、府道、市町村道)のネットワークの強化
- 高速道路の未整備区間(ミッシングリンク)の早期解消、シームレスな料金体系の実現
- 橋梁の耐震性の強化、密集市街地における避難路・延焼遮断帯となる道路整備などによる防災機能の強化
- 総合的な交通安全対策の推進(歩行者空間の確保や自転車総合対策の推進等)
- みどりの風の軸の形成(街路樹等の緑化の充実、幹線道路沿道の民有地等と連携した緑化)
- 農道・林道の整備

⑤都市公園面積

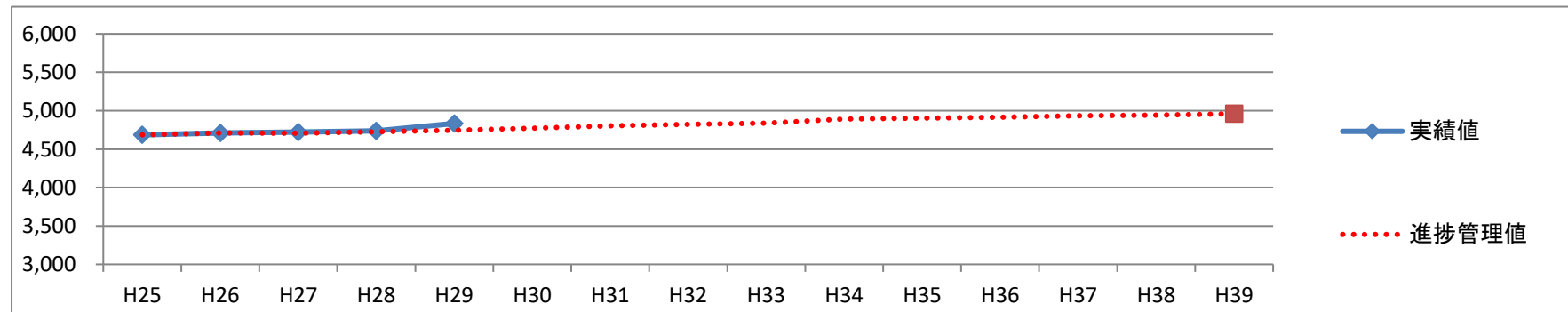
(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
⑤都市公園	4,690 (2.50%)	4,960 (2.60%)	270	必要な面積を確保する。民間開発等に伴う公園面積の増加の すう勢に、今後整備される国営、府営公園の面積を加味して設 定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	4,686	4,710	4,708	4,727	4,746	4,774	4,805	4,824	4,838	4,890	4,902	4,916	4,935	4,943	4,960
②実績値	4,686	4,710	4,735	4,751	4,834										
③増減 ②-①H25	0	24	49	65	148										
④面積増減に 対する面積の割合 ③/面積増減	0.0%	8.9%	18.1%	24.1%	54.8%										

出典：公園緑地関係資料集(大阪府)



(3) データ分析

平成25年からの4年間、若干進捗管理値を上回って推移している。

【参考：基本方向(大阪府国土利用計画(第5次))】

- ・公園・緑地は多様な機能の効果が期待できる主要な施設であることから、適切な維持管理、改修、整備と積極的な利用促進
- ・みどりの拠点を道路、河川等の緑化でつなぐ「みどりのネットワーク形成」

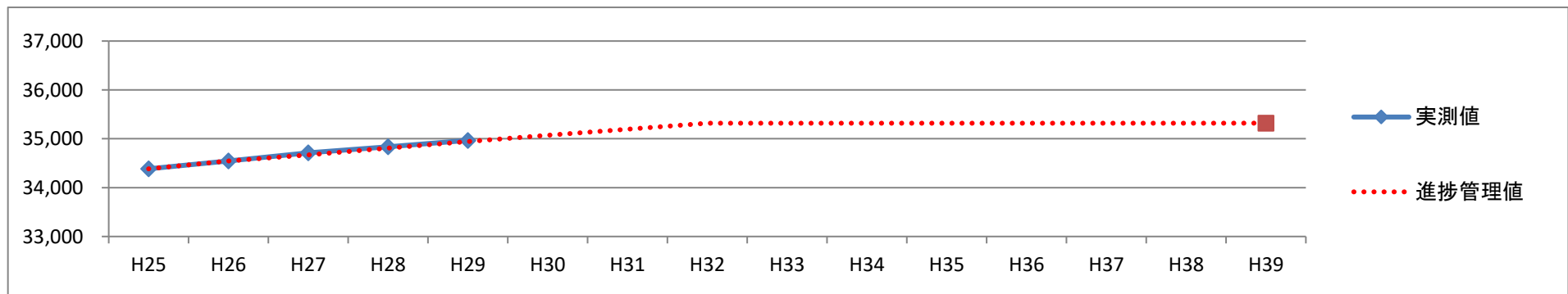
⑥住宅地面積

(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
⑥住宅地	34,390 (18.10%)	35,320 (18.50%)	930	事業計画が概ね確定している住宅地開発に伴う増加と、農地等の土地利用転換に伴う増加を加味し、世帯数が減少に転じる平成32年以降は、施策により増加を抑制すると設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	34,385	34,545	34,669	34,808	34,941	35,070	35,195	35,316	35,316	35,316	35,316	35,316	35,316	35,316	35,320
②実積値	34,385	34,545	34,710	34,836	34,967										
③増減 ②-①H25	0	160	325	451	582										
④面積増減に 対する面積の割合 ③/面積増減	0.0%	17.2%	34.9%	48.5%	62.6%										



(3) データ分析

平成25年からの4年間、住宅地面積は若干、進捗管理値を上回って推移している。

農地から住宅への転用割合は全体の約3.5割を占めている。市街化区域内では約4割と概ね半数を占め、市街化調整区域内では約1割とその割合は低くなっている。(※平成29年度土地利用転換動向及び主要施設整備開発等調査)

<考察に必要なデータ案>

□基礎的データ

- ・住宅地面積(実績値と進捗管理値)
- ・地域別の住宅地面積
- ・総住宅数

□魅力ある生活環境の向上

- ・1住宅当たりの延べ床面積
- ・誘導居住面積水準以上の世帯数と割合

□住宅ストックの耐震化促進

- ・建築時期別住宅戸数
- ・住宅の建替え数と耐震改修数

□低・未利用地や空き家の有効活用

- ・その他の空家率
- ・空家数・空家率
- ・中古住宅流通状況

【参考:基本方向(大阪府国土利用計画(第5次))】

- ・安全・安心、魅力ある生活環境の向上(空き家等の利活用や適正管理、除却等の促進、住宅ストックの不燃化・耐震化の促進)
- ・密集市街地の災害に強いまちづくりと魅力あるまちづくり
- ・計画的住宅市街地(ニュータウン)の再生
- ・災害リスクの高い地域での新たな市街化の抑制、災害リスクの高い地域から安全な地域への住居系土地利用の誘導

⑦工業用地面積 ⑧商業・業務施設等用地面積

⑦工業用地面積

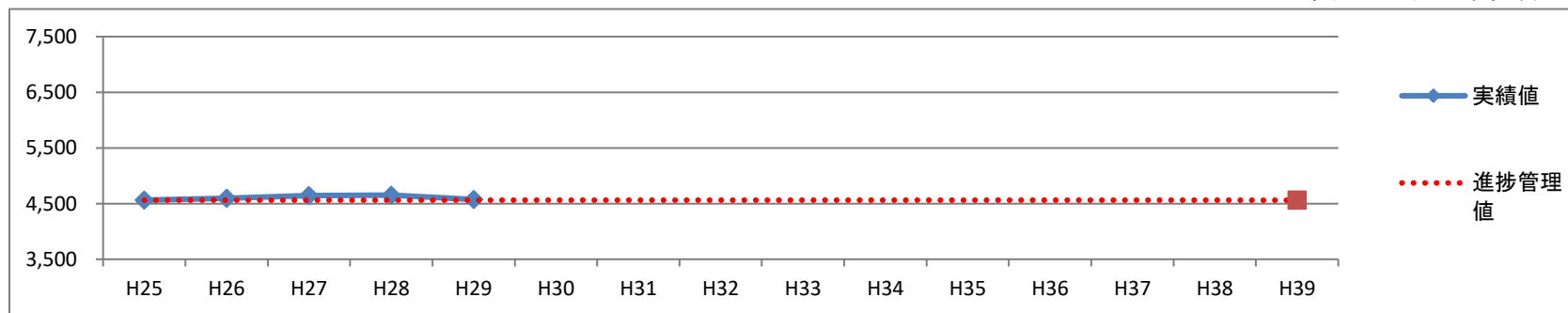
(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
⑦工業用地	4,560 (2.40%)	4,560 (2.40%)	0	現状維持に努める。 平成25年の実測値を施策により維持すると設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区分別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,562	4,560
②実績値	4,562	4,594	4,645	4,652	4,573										
③増減 ②-①H25	0	32	83	90	11										
④面積増減に 対する面積の割合 ③/面積増減	-	-	-	-	-										

出典:「平成29年経済センサス-活動調査」



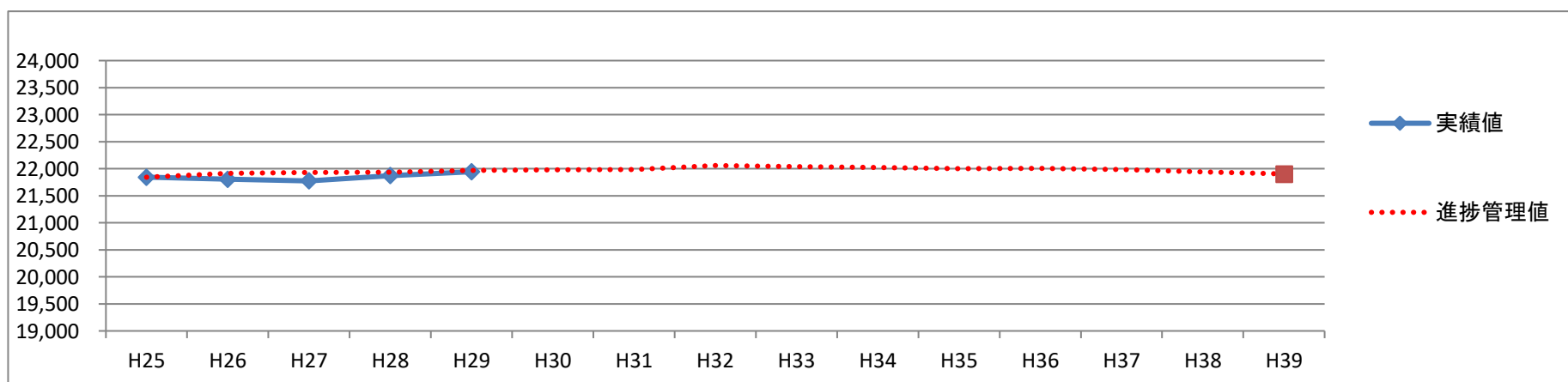
⑧商業・業務施設等用地面積(その他の宅地面積)

(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
⑧商業・業務施設等用地	21,840 (11.50%)	21,900 (11.50%)	60	商業・業務用地のすう勢の予測値に、今後開発事業により創出される面積を加味して設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	21,843	21,912	21,929	21,935	21,971	21,978	21,985	22,059	22,039	22,020	22,000	22,006	21,987	21,944	21,900
②実績値	21,843	21,806	21,774	21,873	21,944										
③増減 ②-①H25	0	-37	-69	30	101										
④面積増減に 対する面積の割合 ③/面積増減	0.0%	-61.7%	-115.0%	50.0%	168.3%										



(3) データ分析

【工業用】

平成26年から毎年面積が増加している。

【商業・業務施設等用地】

平成25年から4年間、進捗管理値を下回って推移しているが、平成28年度には面積が増加に転じており、平成29年はさらに増加している。

【参考：基本方向(大阪府国土利用計画(第五次))】

- ライフサイエンス分野、環境・新エネルギー分野などイノベーションを創出する企業立地の促進
- 幹線沿道(第二京阪道路、大阪外環状線等)及びベイエリア等での地域や企業の立地ニーズに対応した適切な土地利用の促進
- 住工混在市街地での地域の実情に応じた取組
- 都心部や主要鉄道駅周辺等での商業・業務施設等の都市機能の集積促進、土地の有効・高度利用

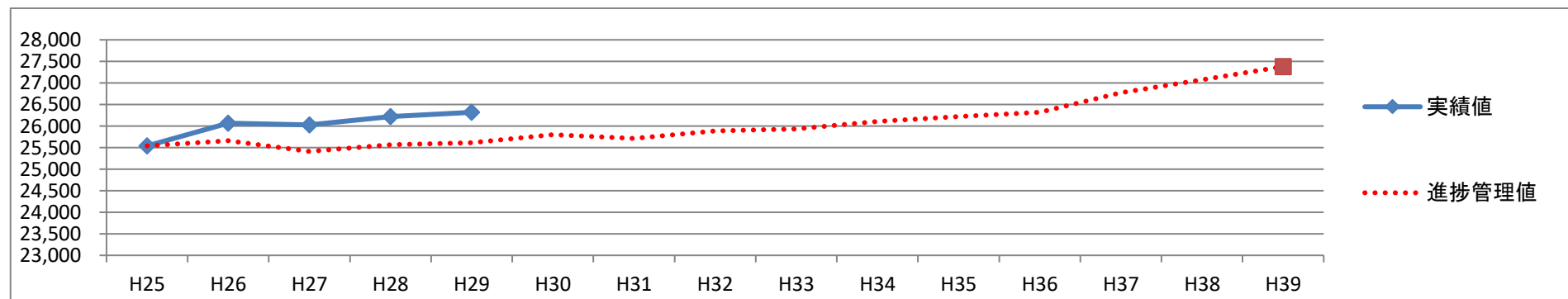
⑨その他用地面積

(1)面積目標の考え方

	面積(ha) (構成比%)		面積増減(ha)	目標の設定について
	H25年	H39年	H39-H25	
⑨その他(空港・港湾その他運輸施設用地、公共施設用地、低・未利用地等)	25,540 (13.40%)	27,380 (14.40%)	1840	適切な利用に努める。 府域全体面積と、他の土地利用区分の規模の合計との差を設定

(2)面積推移の把握(10年後の目標に向けた毎年度の進捗管理値と、土地利用区分別面積調査の調査結果との乖離を算出し、原因を分析。)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39
①進捗管理値	25,539	25,658	25,412	25,568	25,611	25,797	25,713	25,884	25,931	26,104	26,222	26,317	26,772	27,073	27,380
②実績値	25,539	26,067	26,024	26,219	26,318										
③増減 ②-①H25	0	528	485	680	779										
④面積増減に 対する面積の割合 ③/面積増減	0.0%	28.7%	26.4%	37.0%	42.3%										



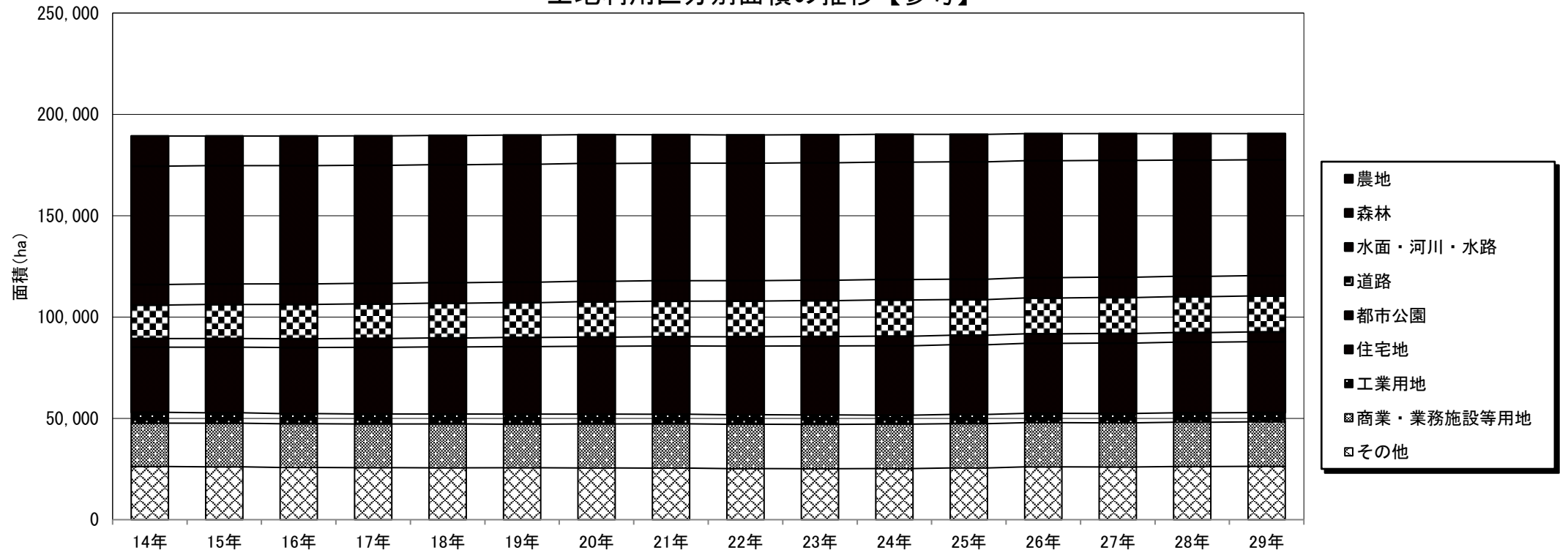
(3) データ分析

土地利用が進めば、未利用地が減るため、順調に減ることが望ましい。しかし、空港・港湾等の整備が進むことによって、面積が増えるため、一概に増加・減少のどちらが良いと言える指標ではない。

【参考:基本方向(大阪府国土利用計画(第五次))】

- ・運輸施設: 関西国際空港や阪神港等ベイエリアにおける国際物流拠点の整備、機能強化の促進
- ・鉄道: 鉄道ネットワークの充実、国土軸の強化に寄与する広域交通インフラ(リニア中央新幹線、北陸新幹線)の全線早期整備に向けた取組推進
- ・沿岸域: 自然海岸・人口海浜の保全

土地利用区別面積の推移【参考】



	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
農地	14,855	14,628	14,598	14,533	14,441	14,357	14,191	14,054	13,922	13,809	13,710	13,560	13,363	13,214	13,085	12,944
森林	58,401	58,370	58,354	58,262	58,193	58,187	58,119	57,985	57,959	57,958	57,936	57,910	57,679	57,639	57,333	57,179
水面・河川・水路	10,141	10,135	10,128	10,124	10,124	10,116	10,103	10,100	10,084	10,076	10,071	10,056	10,049	10,035	10,020	10,005
道路	16,557	16,795	16,933	17,038	17,168	17,186	17,465	17,573	17,631	17,720	17,879	17,601	17,686	17,738	17,745	17,750
都市公園	4,248	4,281	4,329	4,387	4,420	4,512	4,514	4,542	4,590	4,642	4,728	4,686	4,710	4,735	4,751	4,834
住宅地	32,164	32,362	32,631	32,882	33,099	33,308	33,480	33,674	33,863	34,045	34,225	34,385	34,545	34,710	34,836	34,967
工業用地	5,324	5,157	5,006	4,938	4,907	4,965	4,857	4,747	4,697	4,653	4,438	4,562	4,594	4,645	4,652	4,573
商業・業務施設等用地	21,401	21,510	21,569	21,553	21,634	21,505	21,706	21,834	21,880	21,885	21,926	21,843	21,806	21,774	21,873	21,944
その他	26,235	26,087	25,770	25,681	25,605	25,634	25,534	25,456	25,221	25,158	25,229	25,539	26,067	26,024	26,219	26,318
大阪府合計	189,359	189,373	189,376	189,431	189,683	189,772	189,785	189,801	189,847	189,928	190,142	190,142	190,499	190,514	190,514	190,514

(単位：h a)